

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成25年9月
和歌山県立和歌山西高等学校
和歌山県立和歌山北高等学校西校舎
Tel.453-1281

☆「西高校最後だから」と挙手



従来より生徒会は、県生徒会連絡協議会（以下、県生連）夏期ゼミナール（以下、夏期ゼミ）に毎年参加し、他校生徒会執行部との交流を深め学び合っています。

そんな中、5月のブロック会議にて、例年通りレポート発表希望校を求められたところ、生徒会長が「発表します！」と挙手しました。本人曰く、「西高最後だから、何か思い出づくりしたい」とのことでした。

早速相談し、本校生徒会活動として特徴的なものを検討した結果、やはり被災者支援活動だとの結論に達しました。夏期ゼミ当日（8月1日・2日）参加予定者3名のうち、1名は「福島っ子、和歌山のびのび体験」ボランティア

質問にも答え、がんばりました

（白浜第二小学生および福島県下小学生との交流）参加者、もう1名は那智勝浦町立市野々小学生との交流参加者であることから、これら2つの取り組みについて報告することになりました。その後練習を積み重ね、発表当日は西高校への誇りを胸に、元気よく報告に臨みました。この経験を通して、さらに自信を持ち、今後の成長につながってくれることを期待します。

☆世界に「平和」への思いをはせて

8月2日（金）、市民会館小ホールにて人権・平和学習を実施しました。今年度は、フォトジャーナリストの久保田弘信さんをお招きし、「『平和』に思いをはせてー日本で伝えられないシリア内戦ー」と題してご講演いただきました。マスメディアからはあまり伝えられないシリアでの激しい内戦の様子や難民の姿を、画像や映像を交えながら語っていただきました。命がけの取材だけあって、生徒達も落ち着いた様子で、お話一つひとつに耳を傾けていました。

その後もシリア情勢は大変な状況になっていますが、私達も世界に目を向け、これ以上の犠牲者が出ないように祈りつつ、平和について今後も考え合っていきたいと思います。



☆今年も全力プレーを願って



和歌山さくら支援学校が「第23回和歌山県支援学校体育連盟ソフトボール大会」に出場するというので、硬式野球部員、書道部員、生徒会役員で応援幕を作製しました。完成後、さくら支援学校に託しました。今年も優勝目指して、当日は全力で力を合わせてくれることでしょうか。なお、さくら支援学校との交流においては、昨年度の到達点を基礎に、和太鼓や体育大会、文化祭でも発展させていく予定です。

今年の文字は「全力」

